

第54回新型コロナウイルス感染症対策本部会議要旨（速報）

○実施日時／令和5年4月28日 11時00分～11時30分

○発言要旨

議事	発言
<p>次第1「本市の新型コロナウイルス感染状況及び5類移行に伴う留意事項について」</p>	<p>【岡部所長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング状況だが、前週比を見ると、項目1から4までは上向きとなっている。医療機関等で認知している感染者数が微増しているという状況。一方、項目5の入院患者は減少、項目6の重症患者は市内では6週間ゼロ人が続いている。 ・変異ウイルスの状況だが、オミクロン株XBB系統の件数として、前週17件から直近1週間で1件となったが、全体数が少なくなったということもあるので経過を見ていく必要がある。 ・コメントの最後のほうに記載した、アドバイザリーボードでも発表しているものだが、どんなときでも①から⑤の基本的な感染症対策を日常から身に付けておいていただきたい。 ・別添資料の2枚目は世界の状況であるが、いずれの地域でも患者が増えているとか死亡者数が増えているという状況はない。 ・3枚目は、世界の入院例を示しているが、入院するような重症者数は増えていない。ICUの入院例や死亡例も現在増加している状況はない。 ・世界のどこかで異常が起きている状況というものはない。 ・国内の発生状況では、直近が少し増えているという状況。 ・次が川崎市の状況であるが、やはり直近で少し増えている状況。 ・集計期間ごとにモニタリング状況を配置した図であるが、陽性者数は増えているが、入院者数等は落ち着いている状況。 ・WHOが発表している資料で、XBB1.16が増加傾向にあるので気を付けなくてはならない変異であると示している。しかし、世界的に拡散してはおらず、重症度の上昇を示すシグナルは発していない。 ・次はアドバイザリーボードで示した今後の患者の発生動向等の把握に向けた全体像ということで、5月8日以降は患者の把握の方法が違ってくる。 ・一番上にあるのが、流行状況で今まで全数把握だったものが、インフルエンザと同じような定点観測となる。定点は全国で5000か所程度あるが、そこから1週間に1回届けてもらったものを集計するので、10日前後遅れて出てくる。 ・その他にということだが、血清疫学調査では、国内では、日本の住んでいる方の3割くらいが自然に感染したとされている。 ・下水サーベイランス研究は、本市ではやっていないが、いずれやる必要があると考えている。これは、下水中には糞便やうがいの水などが流れてくるので、そこには、流行状況として生きたウイルスではないが、ウイルスのかけらのようなものが見つかるので、非常に敏感に流行を捉えることができる。 ・県としてはやっているのだから、私たちは研究には入っているが、今後はこうしたものがモニタリングになってくると思われる。 ・次に、死亡者数の届出だが、これは人口動態統計を基にするため5か月程度遅れて出てくる。 ・集団感染については、学校の患者発生報告はまだ本市では十分に動いていない。保育園・幼稚園については捉えている。このように集団発生状況をインフ

	<p>ルエンザでのモニタリングと同様な形で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に、三重県における届出患者数と定点サーベイランスの推計が一致しているので、ここから定点サーベイランス報告でも把握ができるということがデータで示されたので、今回定点に切り替えた。 ・図8はインフルエンザの発生動向を定点報告したものだが、このように把握ができる。ただし、10日前後遅れて出てくることが欠点。 ・次に、「川崎市リアルタイムサーベイランス」とある資料だが、川崎市では多くの医療機関に協力いただき、毎日のインフルエンザの患者さんの有無、人数を報告いただいているので、それをグラフ化し、ホームページで公表しているが、こちらは一昨日の状況を昨日出したもの。 ・毎日毎日の様子が、このように数字として出てくるので、いち早く流行の状況を掴める。 ・また、地図上でどこにどれだけ発生したかということが分かるようになる。 ・これをコロナに応用できないかということについて、臨床の先生からもご意見をいただき、5月8日からコロナについても市内においてやるとして、医師会や医療機関にお願いをしたところ。 ・すでにシステムは出来上がっているので、新たにコロナとしての項目を追加しての報告をお願いしている。 ・おそらく、これができれば私が知るかぎりでは日本で初めてになるのではないかと考えている。 ・資料の最後に、このシステムについて2014年に書いたものだが、その中で、今まで普通にやっておかないと、いざという時では混乱してしまうので、ジョギングと同じようにしておくといいと書いてある。このジョギングが今スタートラインに立って走り出すのを待っているといったところ。
<p>次第2「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの変更に伴う本市の対応について」</p>	<p>【事務局】</p> <p>※ 資料に基づき、説明を行った。</p>
<p>次第3「5類移行に係る市民向け広報について」</p>	<p>【健康福祉局】</p> <p>※ 資料に基づき、説明を行った。</p>
<p>その他</p>	<p>【本部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題は以上になるが、先ほど説明したように、5類に変わることによってこの対策本部会議も廃止になる。今後は関係局とも状況を注視するとともに、全庁的な対応が必要になった場合は、危機管理推進会議で対応を行っていくことになるのでよろしくお願いします。 ・また、先ほど岡部先生から、リアルタイムサーベイランスのお話があったが、2014年に発信があったとのことで、こうして準備をしてきて、インフルエンザのことについてずっと研究するシステムが成り立っているということがコロナでも活かされるということで、常にこういう状況を作っていくことが

大事であると思うし、今回のこの3年間で8波も経験してきた中で、しっかり、「こういうときはこういうことが課題であった」、「次はどうつなげようか」といった検証をしっかりとっておくことが大事だと思います。それを次の波なのか、次の新感染症への対応に繋げていく必要がある。

- 事務局から各局にフォーマットを送付し、記憶がフレッシュなうちに取り纏めたいと思う。
- 必ずこの経験を次に活かしていくということを、組織としてやっていきたいと思うので、よろしくお願いします。
- 今回でコロナ本部会議が最後になるが、新型コロナウイルスが無くなったわけではないため、動向を注視しながら対応していくということで引き続き協力をお願いします。

以上